いいね！はりま
町政レポート No.154

▲全国の女性首長が一堂に会しました

お雑煮やおせち料理はそれぞれのご家庭で工夫されてきた形や味があると思います。きれいに盛り付けられたものが売られている昨今ですが、「やっぱり我が家の味は・・・」と頑張ってつくる年末年始の恒例の味が家族の「口福」なひと時に。今年も皆さまにとってよいお年でありますように。

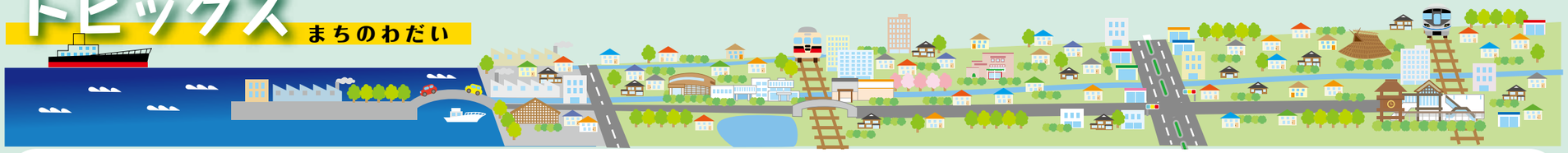
◆11月16日に東京で、「女性首長によるびじょんネットワーク」という会が開催されました。東京の小池知事と山形県の吉村知事の発案で初めて開催された会です。全国の女性首長として現在、知事2名、市長25名、区長1名、町長8名が在職しています。この会では割り当てられたそれぞれのテーマに沿って一人ずつ意見発表を行いました。女性町長たちとは以前から交流がありましたが、市長さんは初めてお会いする方々も多く、これまであまり知らなかった市や町のことが、より身近に感じられるようになりました。男性が多い政治の世界ですが、女性同士仕事の面でも共通する部分が多く、同じ思いを共有することができた貴重な会となりました。新たな絆が生まれた「ネットワーク」の誕生でした。

◆11月26日第2回総合教育会議を開催しました。この中で、今年度行われた全国学力・学習状況調査の結果が報告されました。小学校、中学校ともに全国や県の平均と同様ということでしたが、英語の話すことに関しては全国平均を大きく上回る結果となりました。学校現場での英語指導やALTの派遣などに効果があったものと思われます。子どもたちにとって一生の財産ともなる学力向上・定着については、学習環境のさらなる充実を図ってまいりたいと思っています。

◆11月10日「いきいきセンター」で文化祭が開催されました。今年は中央公民館が改修中のため、例年とは違う形になりましたが、生で聞く「シャンソン」「浪曲」「民謡」の迫力に感動でした。

播磨町長　清水ひろ子

トピックス
まちのわだい



播磨町まちづくり講演会を開催しました！

都市計画グループ ☎079（435）2366

11月23日、講師に若狭健作さん（株式会社地域環境計画所）と佐伯亮太さん（合同会社 ROOF）にお越しいただき、まちづくり講演会を開催しました。初めに、若狭さんより「街場にあるもので考えてみる」と題して、若狭さんがこれまでに尼崎市内で取り組んでこられた様々な活動をときおり笑いもはさみながら和やかなムードでご講演をいただきました。

その後、カードゲーム「Harima to the Future」を使ってワークショップを実施しました。播磨町に住む人の悩みを播磨町にあるお宝を使って解決しようと、グループごとに様々な解決方法が提案されました。参加者全員が楽しみながらも真剣に播磨町の未来について考えました。

▲まちのお宝を書いたカード

こころふれあう　町民のつどい　講演会

生涯学習グループ ☎079（435）0565

12月８日に開催した「こころふれあう町民のつどい」講演会は、播磨南高等学校の生徒が司会を担当し、小･中学生の人権作文・詩の表彰と朗読に続いて講演が行われました。

講演は、弁護士の住田裕子さんが「変わりゆく社会の中で、守りたい いのちと心」という演題でお話しされました。朗読をした児童の作文も交えながら、特に人の痛みや差別される痛みが分かる「共感性」について話されました。会場に集まった約300人の参加者も、終始うなづきながらとてもよい笑顔で講演を聞き、有意義なつどいとなりました。

楽屋裏

12月11日、コウノトリが大池に来ているという連絡が広報あてにありました。11月から近隣市町に飛来していましたが、ようやく播磨町にも来てくれました。去年、播磨町にやってきたりゅうくんです。今年は、もう1羽、雌のコウノトリも一緒です。

りゅうくんが放鳥された福井県の自然環境課コウノトリ支援本部のお話では、コウノトリは生後２年を経過してようやく繁殖することができる成鳥となるそうです。りゅうくんはまだ成鳥ではないので、一緒にいる雌とはお友達同士だということです。（宮）

交通安全のつどいを開催しました

危機管理グループ ☎079（435）0991

10月23日に播磨南小学校で交通安全のつどいを開催しました。

佐川急便と神姫バス、加古川警察署にご協力いただき、内輪差や死角についての実演講習、白バイ隊員の人のお話など、交通安全についてのいろいろなことを学びました。

学習の後には、兵庫県警察音楽隊による演奏を楽しみました。

国登録有形文化財（建造物）に梅谷家住宅が登録されました

郷土資料館 ☎079（435）5000

11月15日に、梅谷家住宅母屋・離れ・北塀及び西塀が国登録有形文化財になりました。

梅谷家は代々庄屋を務め、新田開発や町内を流れる喜瀬川の氾濫をおさめるなど地域の発展に貢献した家柄で、10代目の梅谷美方氏が1938年に孫が阿閇小学校（現播磨小学校）に通いやすいように建設した住宅が、今回登録文化財となった梅谷家住宅です。

母屋は60年代に改修されましたが、焼き杉板の外壁、木製建具の一部は当時のままで、離れは一度も手が加わらず、3畳の茶室のほか、当時の建築には珍しい緩やかな階段、針葉樹ツガの木材をそのまま使った約10mの縁側などが特徴的な住宅です。

▲播磨小学校の前にある梅谷家

令和元年度播磨町技能職者表彰を行いました

住民グループ ☎079（435）2364

令和元年度播磨町技能職者表彰の表彰式が11月25日、町長室で行われました。今年の受彰者は次の方です。

濱田　昇一さん（宮北）型枠大工

▲受彰した濱田さん

中学卒業後、稲美町の有限会社大西工務店で仕事をはじめ、大工見習いとして木造住宅建築、鉄筋住宅、鉄筋倉庫の建設に従事しました。大工としての技術のほか、鉄筋住宅などにおける型枠工事の技術を取得します。

その後、兄弟子が自営する有限会社芳幸建設にうつり、同じく木造建築から鉄筋住宅など幅広く住宅施工を行いました。

濱田企画を自営後は、型枠大工として、公共施設や国道、高速道路などで型枠工事を施工しています。建築大工で取得した技術を生かした丁寧な仕事ぶりは、取引先企業からの信頼は厚いです。

また、後進の育成にも熱心であり、現在若い職人を2人雇用し、技術の継承をすすめています。

わんぱくはりまっこ

徳光（とくみつ）　七海（ななみ）ちゃん
（北本荘）

いっぱい遊んで、元気に大きくなってね！
（父と母より）

※撮影時の年齢です。